

## 岩手県野田村の支援・交流活動報告（2012年1月15日）

この日は正門に6時に集合。辺りが未だ薄暗く、野田村はさぞかし寒いだろうと感じさせるきんきんと冷えた早朝。新年を迎え、昨年お世話になった野田村のみなさんへ新年のご挨拶ができることを楽しみにしていました。この日の参加者数は教員1名、学生29名、市民9名、その他4名、計43名で、バスの中では補助席以外ほぼ満席でした。野田村に到着するなり、雪が全くなく天気が素晴らしいのに、気温が非常に低いという弘前とは正反対の気候に、驚きを隠せませんでした。



道の駅おりつめにて集合写真。



小正月行事どんと焼き。

今年初の野田村行きとなった今回、午前10時から役場前で行われる、小正月イベントのお手伝いを行いました。これは野田村役場が主催するもので、どんと焼き、ご祈祷、もちつき、だんごしばづくり…といった新年を感じさせる内容や地元の方々によるアトラクションもありました。前半のご祈祷では、昨年お亡くなりになられた方々へ深い祈りを捧げる時間となり、後半のアトラクションでは、地元の方々による伝統の踊りが披露され、野田村の着実な復興を感じさせる賑やかな雰囲気でした。普段見られないような地元の踊りを見ることができ、貴重な場でした。参加者の中には、どんと焼きという小正月行事が初めての人も多かったようです。



野田の方々による伝統の踊り。



ご祈祷前。

この日、手伝いさせていただいたのは、配給するお餅の袋詰めやもちつき、どんと焼きの片付け等で、その他の時間は、野田村の方々と一緒にイベントに参加させていただきました。もちつきは、やはり力のある野田村のおじさまたちが大活躍（笑）！つきたてのきなこもちをいただくと、寒さを忘れさせるほど美味しかったです。どんと焼きの周りに集って温まる人たちがいれば、また、チーム北リアスの炊き出しによるこんにやくで温まる人たちもいて、寒さにも負けず役場前の賑わいが温かかったです。途中、野田村で野田村の住民と村の復興に携わるボランティアたちと一緒に、復興していく様子を背景に集合写真を撮る、という「復興の狼煙」の企画が盛り込まれました。野田村への復興の願いが詰まった一枚の写真が、一緒に写った方々だけでなく今回写らなかった野田の方々へも元気づけられる一枚になったらいいなと、心から思います。



もちつきのお手伝い。



チーム北リアスによる炊き出し。

お昼御飯はバスの中で、恒例のかまどのつきやお弁当！この日も野田塩おにぎりを美味しく頂きました。これを食べると、野田村に来たんだなあという実感が湧きます。

イベントがお昼頃で終わったので、お弁当を食べた後、まるきんや道の駅野田に行く人が何人もおり、海岸沿いの復興の様子を見る時間もありました。海岸沿いに行くと、堤防が徐々に出来上がってきていて驚きました。野田村が着実に復興していく様子を見られることを、心から嬉しく思います。帰りのバスの中では、野田の方々の笑顔で逆に私が元気づけられたという感想がいくつか寄せられました。

野田村の方との顔の見える関係ができてくることや野田村の良さを実感することだけでなく、「復興の様子を見たい」が、自ずと「また野田村に来たい」という想いになると気づく今日この頃です。

今日は、顔なじみの野田の方々に顔を合わせて新年のご挨拶ができ、来て本当によかったです。今年も、新年を迎えより一層野田村が復興に向かっていく様子を微力ながら応援していきたいと思います。

日野口早希（人文学部三年）